



**HSK**  
しもつき  
**霜月号**  
NO.144 2012.11.10号  
*Advocate*

1973年1月13日第三種郵便認可 HSK通巻番号488号  
発行/2012年11月10日(毎月10日発行)  
編集者/我妻 武  
住所/〒063-0812  
札幌市西区琴似2条5丁目3-5 マンションMOMOI F  
特定非営利活動法人 札幌・障害者活動支援センターライフ  
TEL 011-633-6666 FAX 011-613-9323  
H P <http://npolife.net/>  
発行/北海道障害者団体定期刊行物協会  
定 価/100円

# 共同連北海道ブロック会議結成交流会

共働・共生の社会的事業所をめざそう!

**日 時** / 2012年11月9日(金) 午後3時開会

**会 場** / 市民活動プラザ星園2階ホール  
札幌市中央区南8条西2丁目 (駐車場がありません)

**参加費** / 3,000円 (交流会費用含)

障害があってもなくても共に働き、共に生きる場をつくろう!  
 いろんな困難を抱える人たちと共に働ける社会的事業所をめざそう!  
 そんな想いを共有する仲間たちとの出会いを求めて、  
 共同連北海道ブロック会議を結成することにしました。  
 想いを共有する仲間たち、みんな集まろう!

◆第1部 オープニング・セレモニー (15:00~)

- ・開会挨拶
- ・～オープニングパフォーマンス交流会～  
みんな共に働く仲間・参加する各場紹介&パフォーマンス
- ・来賓のご紹介、ご挨拶

◆第2部 共同連北海道ブロック会議結成大会 (16:30)

- ・基調講演 1 堀 利和さん (NPO共同連全国代表)
- ・基調講演 2 斎藤 縣三さん (NPO共同連全国事務局長)
- ・北海道ブロック会議の説明と役員紹介
- ・北海道ブロック会議代表挨拶  
高野 律雄さん (農場たつかーむ代表)
- ・共同連北海道ブロック会議結成宣言

◆第3部 共同連北海道ブロック会議結成交流パーティ (17:30)

- ・友誼団体等のご紹介、ご挨拶
- ・お楽しみ抽選会 ・歌あり、踊りあり、パフォーマンス(申込は右記まで)

● 共同連とは～  
 障害のある人に対する差別とたたかい、障害のあるなしに関わらず、共に働く事業所を展開することにより真の共生社会づくりをめざし1984年結成された。

● 参加申し込み・問合せ先  
 NPO法人 札幌  
 障害者活動支援センターライフ  
 電話 011-633-6666  
 (担当/石澤)  
 E-mail: [honbu@npolife.net](mailto:honbu@npolife.net)



## 大谷 強 (障害者政策研究全国集会・実行委員)

※本原稿は大谷強さん(京都府在住)のHPに2012.09.18付けで紹介されたもので、アドボケイト9月号に掲載された斎藤規和さん(NPOライフ理事 株式会社シムス社長)の原稿に対してのコメントです。

※大谷さんは経済社会保障についてのご研究をこれまでされています。他にも障害当事者と共同の運動をこれまで数々されています。詳しくは、HPをご覧ください。  
「ノーマライゼーション政策研究」<http://www.ops.dti.ne.jp/~t-otani/index.html>

## 政策入札の時代 —— 公契約条例が生み出す社会の条件 ——

2012年に入り、各自治体で「公契約条例」が議論になってきた。札幌市では、市議会で「公契約条例」が上程されたままになっている。その経緯は「2012.04.29 継続審議になった札幌市公契約条例案」を参照。さらにこの問題に興味がある人は「障害者」のページも参照して欲しい。大阪自治研センターの吉村理事長と大阪市西成区を中心に運営されているナイスの社長の富田一幸さんという2人を参加させた大阪としても、札幌にも成功させたい気持ちで一杯だ。NPO法人で「札幌・障害者活動支援センター・ライフ」が発行している「アドボケイト」(第142号、2012年9月10日)では、NPOライフ理事 ビルメン・ホームヘルパーの派遣をしているという株式会社シムス社長の斎藤規和さんが「政策入札研究フォーラムに参加して」という記事をかかれています。雇用者の立場からは、簡素であるが良く考えられている。以下が斎藤規和さんの全文である(札幌の場合は「障がい者」という表現を使うが、このページでは従来通りに「障害者」という)。

### 「政策入札研究フォーラムに参加して」

NPOライフ理事  
株式会社シムス社長 斎藤 規和

#### 自治体が「政策入札」をする制度改革 ——

政府の公共調達や自治体が行う民間委託の発注先を公平に選定する目的で、入札という方法がとられている。従来は価格競争をさせて、最も安い価格を提示した者を落札者としてきた。発注する側(行政)が経費の削減を図ろうとすれば、おのずと予定価格の積算は厳格化し、且つ、応札業者も拡大し、その結果、応札業者には人件費削減の圧力が働くこと

なる。

事実、札幌市においても庁舎の清掃業務や指定管理者への委託業務については、発注額の縮減と言う点で十分な成果をあげている。

しかし、安い価格を評価する「価格入札」が毎年くり返されることで、最終的には労働条件の劣悪化につながることは避けられない。

#### 社会的価値の尊重 ——

入札制度の中に、社会的価値を尊重するような評価基準を導入すること、すなわち「価格入札」から「総合評価入札」への転換が、今こそ求められている。

更に踏み込んで、入札制度そのものを社会的価値を実現手段として機能させてゆく。これが「政策入札」である(これは自治体の自治体入札・委託契約制

度研究会が10年以上前から研究・提唱してきたものと認識している)。

総合評価入札制度が、社会的責任を果たそうとする企業等を応援する有効な政策手段になり得ることを、「大阪エルチャレンジ」(原文には注がある一大谷注。)の10年にわたる実践が見事に証明している。

#### 障害者など社会的に排除された人々を雇う政策 ——

今日の社会で、仕事を得て安定的に収入を得られることは、誰にとっても人生の重要なテーマである。とりわけ、障害を持つ者や色々な状況によって社会から排除された者にとっては、一人では乗り越えられないケースが多い。

社会的支援が必要である。障害者等を積極的に雇用する企業に対して高いポイントを与え入札で有利にすることで、雇用の促進と経営安定化を図る。

これを(公契約—大谷注)道も札幌市も、ぜひ導入して欲しいと願う。

## 公契約条例の試み

政策入札は、安い業者が優れた業者という価格入札から社会的価値を実現している業者を行政もバックアップする、という行政の意思表示であり、富田さん流に言うところ「行政の哲学」である。

この入札制度の転換の中で、当然に、公正労働基準の尊重も評価されるべきである。札幌市は従来の価格入札をそのままにして、官製ワーキングプアの解消のため(?) 落札業者に一定の賃上げを義務づける

「公契約条例」制定しようとしているのが、疑問を感じざるを得ない。

価格入札を毎年くり返してきたために、道内ビルメン企業の利益は減少し、従業員の労働条件も劣悪化している。まず、入札制度を見直すことが必要である。手順としては、社会的価値を実現するための契約制度改革基本条例を制定することが先と考える。以上が、斎藤規和さんの文章全体である。

### 求められる「行政の哲学」の作成 —— 大谷さんのコメント (1)

富田一幸さんがどう表現したか、知らないが、その場合、根本になるのが「行政の哲学」であろう。

障害者や母子家庭の母などが社会参加や就労を支援するために、行政が「あらゆる分野を通じて問題を解決しよう」と、その担当で出来る努力を全力で競う必要がある。これこそが解決を迫られている大きな問題であると、社会に告げることだ。

縦割りの批判ばかりしていると、全庁を上げて解決すべき問題が絞きれないだけだと思う。障害者の場合は保健福祉部かぎりの問題になっている。異動して政策当事者になると、母子家庭の母親の就労問題は児童家庭局の問題だろうとなる。就労

部門専門部門の問題も忘れては困る。就労問題がすべての問題解決に関わると思えば、福祉の問題で解決できる問題もある。科学技術が重要な役割を果たす場合もあるだろう。庁内清掃は全体が綺麗になることだ。全部に関係をすることだ。総務部の各部署も気にかけていた。

太田知事の時は外注に出して良かったという評価が飛んだ(旧来の直営部門はどうしたのか)。知的障害者一人一人に対して知事が挨拶をした。報道陣がカメラを構える。そこで働く知的障害者も働きがいがあるというものだ。これが社会問題の成果である。

### 手段は無数にある —— 大谷さんのコメント (2)

その場合は使える手段は無数にある。「入札」制度に解決すべき問題が集中しているとしたら、たまたまそれが「総合評価一般競争入札制度」だったということである。他の自治体の場合は「公契約条例」となる。

大阪府の場合では「行政の福祉化推進プロジェクト」(2000年3月報告書作成、以後毎年策定されている)であろう。たまたま大阪府の場合は「総合評価一般競争入札制度」があった。障害者の雇用問題も

母子家庭の母親の問題は、一般競争入札制度に矛盾が集中していると判断された。

問題は「行政の哲学」である。そこで「哲学」というと難しすぎるが、行政全部を挙げて解決すべき問題だろう。これを解決しないと行政が住民の不信感に曝されるという問題であろう。その場合、一般競争入札を選択の場合もあるだろう。

### 縦割り批判の問題を超えて —— 大谷さんのコメント (3)

行政の悪弊として縦割りが批判されるが、住民はあらゆる分野にわたって問題は縦割りを超えて、諸問題が連動しているし、総合的だ、ということを感じる社会的な問題が見つからないだけであると思う。

住民の側に惹き付けると問題ははっきりするだろう。一部の住民は縦割り批判をするが、表面的に満足だと思えば、多くの問題はそのまま、縦割りの中で蠢いているだけだ。

全行政を挙げてあらゆる分野で対応できないとすれば、行政の分野で抜け穴が大きく欠落しているとは、誰も思いたくはない。その抜け穴を防ぐために、穴埋めを急いで作るだけのことだ。

公契約条例とは価格だけで事業者を評価するとは、別な社会的価値観を大切にしたいものだ。そのときに行政は別なものになっているだろう。

# 札幌市リユースプラザ

〒004-0003 札幌市厚別区厚別東 3 条 1 丁目 1-10  
TEL 011-375-1133 FAX 011-375-1155

# 札幌市リサイクルプラザ 発寒工房

〒063-0835 札幌市西区発寒 15 条 14 丁目 2-30  
TEL 011-662-7815 FAX 011-662-7816



<http://www.reuseplaza.jp/>

## 「東区クリーンさっぽろ推進協議会のみなさんが見学にきました」

発寒工房 坂本 倫子

9月25日(火)に東区より39名が発寒工房に見学に来ました。

最近見学者が多く、工房はとっても賑やかですよ～！会議室の資料セッティングから見学者のお迎え、リサイクル講義、そしてお見送りまで笠井館長が一人でサッとやってしまうという「見学者を迎え入れるスペシャリスト」と化しています。私は横でニヤニヤしながら、こっそり写真をとっているだけの役割です(笑)



まだまだ大型ゴミがリサイクルにまわせることを知らない人も多いでしょうから、こういう施設見学を通して広がっていかれるといいなと思います。

## リユースマルシェに参加して .....

発寒工房 菅原 厚志

そろそろ寒くなりますね！

焼きそば担当は2日間ですが、本当に楽しかった！美味い～と言われて喜んでいました。来年も期待しています。

発寒工房 関 隆広

ゴミ処理や車入れがすごく大変でした。2時すぎには天気が極端になってきました。よさこいも少し見れて嬉しかったです。

少しだけ小学生とかくれんぼをしてみつかっちゃいました。

発寒工房 枇杷木 勝文

資源回収など色々お手伝いを頑張りました。とても楽しかったです。

発寒工房 大井 敏彦

最近腰痛がひどく、足まで痛くなったので参加できるかどうか心配だったが、腰に負担がかからないような仕事をさせてもらい、1日なんとか手伝った。資源ゴミの回収の手伝いをしたが、何回か参加しているので様子はわかるけど、以前よりも皆さんがきちんとゴミを持って来るようになって安心した。

この日は厚別のよさこいのグループが踊った

り、スタンプラリーがあつたりして、自分としては楽しいイベントでした。

発寒工房 齊藤 悦久

今回は2日連続参加しました。

悪戦苦闘のコロッケとフライドポテトは強敵でしたが、なんとかお客さんたちも喜んでくれて何よりでした。(助けてくれた皆さんありがとう)

そしてちっきゅんに入ってしまった。予想外の子供達のリアクションにやられそうで、自分の体力不足を実感。次は負けないよう戦わねば(笑)

イベント以外でも会う方たちが参加されてたのもあり、今回は良い経験と収穫を得た機会でした。



### リユースプラザ新人職員紹介

こんにちは。10月14日よりリユースプラザでお世話になっている小野克代と申します。

勤務初日が「マルシェ」の日でもあり、何かなんだかわからないまま初日を終えましたが、たくさんの方にお会いすることができたのでよかったです。

まだまだわからないことだらけですが、みなさんのお役に立てるよう頑張りますので、よろしくお願ひします。



… ☆ リユースプラザ・近況報告 ☆ .....

### 王子板紙工場見学に参加して

リユースプラザ 西田 大作

9月21日、発寒工房のジョン主任と札幌市主催の王子板紙工場見学に参加させていただきました。

今回の工場見学は、朝から機嫌の悪いジョンさんを隣に、はるばるバスでゆられること片道6時間という長旅でした。



羊さんの足腰の強さに感動しているジョンさん

まずは白石に寄り道をして、小型家電、古紙、ビン、缶などをポイントと引き換えに引取りをしてくれて、ポイントがたまると対象商品と交換できるというシステムを取り入れた、「じゅんかんコンビニ、マテックプラザ」を

見学しました。コンビニ感覚でリサイクルが出来るという気軽さに魅力を感じました。あなたの家に眠っている資源もポイントに変えちゃいましょう。

途中、土別の「羊と雲の丘」で豪華弁当の昼食タイムを挟んで、羊たちとたつぷりたわむれたあと、いよいよ今回のメインイベント、日本最北端の王子板紙工場に到着です。

この工場ではダンボールを製造しているのですが、使われる原料の古紙の60%が札幌市から出されたものだそうです。リサイクルの過程を実際に目で確認出来たので、市民の皆様に対して説得力のあるリサイクルの説明に役立てたいと思っております。

羊にも乗れたし、とても充実した一日になりました。

### 秋の収穫祭「リユースマルシェ」大盛況!!で終了

リユースプラザ 松永 クニ子

去る10月13日(土)14日(日)の2日間、リユースマルシェが開催されました。

週間天気予報では、雨とくもりのマーク。屋台は？フリマは？外での野菜の販売は？キッズパフォーマンスは？と…とにかく開催日までドキドキの日々でした。

お天気を心配される市民からの電話のお問合わせに「2012年のリユースマルシェは、絶対晴れます!」と声高々に宣言はするものの、内心は冷や冷やしていました。気温の低いことを予測して、コココーラさんから保温庫を借りて、暖かいお茶を準備したくらいです(笑)。

しかし、今回のイベントも晴れました!とても暖かかったです。過去最高の入場者数13日476人、14日396人と大盛況でした。10月から後期のサタデーテーリングのスタンプポイント施設に指定されたことも幸いし、土曜日は78名の子供たちが来館したのです。

開館前から野菜を買い求めに来た主婦の方々、エコバッグづくり、紙すき体験、風呂敷活用術など、どのコーナーも人が集いました。キッズパフォーマンスは13日に厚



ふるさとファームの新鮮野菜 ジャガイモの詰め放題が人気

別区PTA連合会20名の子供たちの元気なよさこいの演舞、14日は、初参加の白石区川下



太鼓体験コーナー大盛況!ライフメンバーもNORIさん(右)もノリノリ♪

太鼓10名の子供たちの威勢の良い太鼓の音が響き渡りました。

風船家NORIさんの楽しいバルーンアートショーに笑い声が響き、オセロ岡林名人との対戦に奮闘する子供たちなど、今年度5回目のイベントは大盛況で終了致しました。



こころや精米のゆめぴりかを笑顔で販売する田中さんでも大失敗…分かりますか? 失態者松永です<m(\_)\_m>

ライフの仲間の協力もあり、来館者や他団体の方々に大変喜んで頂けるイベントになりました。本当にありがとうございました。来年もまた5月からイベントのご協力、ご参加をよろしくお願いいたします。



子ども相手にも決して手を抜かないそれが岡林名人の信条です。



生きる!働く!輝こう!

Kokoro Page

NPO法人札幌・障害者活動支援センターライフ

こころや

〒063-0812 札幌市西区琴似2条5丁目3-5  
マンションMOM0102

TEL 011-614-1871 FAX 011-613-9323  
kokoroya@npolife.net

お米精米・販売  
チラシ折り  
封筒詰め作業  
箱折り  
シール貼り  
清掃委託業務

## 「生産者のこころを届ける米屋を目指して」

小黑 悠佑

先月の下旬、今年の新米をもらいに生産者のところに行ってきました。



こころやのお米を作っているのは厚真町の本田農場さん。お米は全てもみの状態で保管しており、必要な時だけ自前の機械でもみを取ります。もみの状態であればお米は劣化しません。

使う農薬は2回だけ。収穫した後も虫対策の薬を使用することはありません。お米を作って45年の本田さんのこだわり。その人に会うことで初めて見えてくる生産者のこころ。物を売る者として生産者のこころを理解した上で、物を売ることが大切だと思いました。

米の貯蔵庫を離れた場所にある沼の畔には、素敵な手作りの家。毎年多くの方が訪れるという素敵な木のお家は、湖を囲む里山の木々を本田さん自ら切って家族で完成させたという。そのお家で淹れてくれた美味しい珈琲をすすりながら、本田さんの出している通信（里山通信）を読みふける。通信には里山の自然と生きる本田さんの言葉が書かれています。人間も自然も野菜も皆同じく生きている、そんな思いが通信にもお米にも宿っていることを感じました。そんな生産者のこころを知った上で、私達販売する者が消費者とどう向き合っていくのかが、これからの課題だと思いました。皆で考えて少しずつ進んでいけたらと思います。これからもこころやのお米をよろしく願います。



今回は、やっときた新しい精米機について書きます。どうぞ期待!

### 今の「こころや」の体制

山本 守一

こないだ「こころや」から2人が「たねや」に異動になり、7、8人のメンバーとなりました。それでみんながやる気を発揮してくれたのか、3000枚の折って、差込をする作業が出来ました。次に一つひとつに帯をしていく作業が残ってしまいましたが、それを3日間で仕上げる事が出来ました。僕は感激を覚えています。「やれば出来るんだと」スタッフの勢いも合ったからではないでしょうか。僕も「おみごと」というしかありません。いつも、明日からあの作業があるから頑張ってくださいとやってやる気を起こさせてくれます。そうして作業をするのです。僕たちも頑張らないと作業を始めるようにと「こころや」の勢いを見せるのです。それが出来たのです。僕はホッとしています。

作業の無いときはブラブラとしている僕たちですが、これもスタッフがいるからだと思っています。

### 北海道のどこが好き?

石井 美之

北海道ならではの暮らしやすさ、街並みや自然の多さ、そんな北海道を愛する皆さんと共に学んでいきたいと思えます。



10月から新しい仕事が入りました。週一回ですがインテル東洋ゴムさんの会社について清掃をする仕事です。朝、まず一番に食堂のそうじ、テーブル拭き、フキンがけをはじめ、男子、女子（トイレ）掃除、風呂場の掃除などを効率よく終わらせる仕事です。

まだまだ未熟でがんばっていかねばいけません、早く仕事になれていきたいと思えます。

### 営業!

柳瀬 司

また高校に営業に行きたい。

アウトソーシングセンター  
元気ジョブ

札幌市中央区南 8 条西 2 丁目 5-74  
市民活動プラザ星園 103  
TEL 011-596-6581  
FAX 011-596-6582  
E-mail: genki@hatarakutei.jp



## これからの官公需契約のあり方について

小形 忠寛

去る9月14日、北海道新聞朝刊の瓦版に「障害者就労支援B型の現状」の特集記事が掲載された。中村記者が元気ジョブへ取材に訪れ、障害者就労施設等と企業とのマッチングの成功事例を紹介した。また、6月には「国等による障害者就労施設等からの物品等の調達の推進等に関する法律案」が可決されたのを機にその影響と官公需契約の現状について説明した。

来年4月よりこの法律が施行され、障害者施設からは工賃向上に繋がると期待をしているが、その効果は不透明である。というのも、本法律が2005年の地方自治法改正に伴って、優先的に障害者就労施設等への随意契約が可能(167条2の第3号随契)となったものとほとんど変わらないからである。

例えば、札幌市におけるH23年度の官公需契約は、物品で12万1千件、役務で5万5千件(うち中小企業向け契約が、物品で10万3千件、役務で4万9千件)ある。ところが、第3号随契を使って発注しているものは30件程度であり、その他の随意契約では、元気ジョブがマッチングしたもので50件程度にしか至っていない。仮に障害者施設でもできる仕事があれば、障害者雇用率(2%)と同程度(役務でも約1千件)の優先発注があってもいいのではないか。ただ、闇雲に発注数を増やせば競争入札するよりもコストが高くつくからその処は今度、市民から税金の無駄使いと非難されかねないところでもあるが…。

官公需契約に関して、競争入札となれば障害者施設が価格競争できるほどの能力を持っている施設は少なく、入札に参加していないのが実情である。

また近年、単なる価格だけでなく、障害者雇用率の高い企業や実績などのポイントを加算して決める総合評価方式を導入する自治体も増えている。

しかし、障害者の中には一般就労できない人たちも多く、福祉的就労や共同作業所や地域活動支

援センターに通って、仕事をしている。つまり、総合評価方式の導入だけでは、こういった人たちの仕事をカバーできないという最大の弱点があり、評価の仕方にもこれまた疑問符がつく。

ところで、よく建築や土木などで行われている共同企業体方式という契約があるのを知っていますか。競争入札であれば大企業も中小企業も同じ土俵の上での価格競争をして、最低価格を示した企業に落札される。地元の中小企業は、価格で大企業に勝てないなどという弊害がある。

しかし、この方式には、中小企業と大企業が共同企業体を組むことでその弊害が抑制され、しかも大企業の技術を学ぶことができるので中小企業の技術向上に役立っている。また、もう一つの利点は業務が終われば組合組織と違い、企業体の解散など手続きが必要ないところも魅力である。

予てから私が思っている官公需契約のあり方として、この共同企業体方式を拡大し、一般企業が障害者施設をパートナーとして共同企業体を形成し、それを入札参加条件として競争入札を行なうという発想だ。多くの業務には、障害者施設でもできる軽作業があるから、その部分を障害者施設が担えば、確実に受注機会は多くなり、障害者の仕事が増え、スキルアップと工賃向上に繋がるのではないだろうか。

それには、その働きかけをする『(仮称)障害者就労支援企業パートナー協会』のような大きな組織が必要となるが、それを元気ジョブが障害者就労施設等と企業とのパイプ役として担い、両者が密接な関係を築けるような機能的役割(情報提供や相談など)を持って企業へ働きかけをし、仕事の受注に繋がれたらいいと思う。

**障害者が  
貴社を  
サポート!!**

企業・官公庁を問わず、  
軽作業等のアウトソーシングは  
「元気ジョブ」にお任せ下さい。



NPO法人 札幌・障害者活動支援センターライフ

**共働サービス たねや**

〒063-0804 札幌市西区二十四軒4条6丁目5-32  
テラ二十四軒1階

TEL 011-613-0611 FAX 011-644-0088  
taneya@nplife.net

・出張販売  
・配送業務  
・チラシ折り  
・封筒詰め作業  
・箱折り・シール貼り  
・清掃委託業務  
・その他委託業務



『寒いよ!!』

朝、晩の冷え込みが厳しくなり、つつい背中をまるめてしまいます。

寒さも本格的になってくるとたねやの入り口を緑いっぱいにしていただ植物たちも店内へ移動することに。何か変わるものを皆で考えて、アイデアが生まれるのを楽しみにしたいと思います。

リユースプラザの木材を貰って店のインテリアを作成中♪

☆ たねやイチオシ 今月のオススメ!! ☆

**第3世界ショップのフェアトレードチョコレート 有機栽培×フェアトレード×伝統技法**

添加物に頼らず時間をかけて練り上げているから、口の温度でとろけ出すなめらかで濃厚味わい!!

●ビター	483円	糖分を控えめに仕上げたカカオ約55%ほろ苦さが特徴。お菓子作りに使えばカカオの香りが濃厚な贅沢な味に!!
●ヘーゼルナッツ	504円	チョコと特に相性の良いヘーゼルナッツがまるごと入っています。ミルクチョコレートとの絶妙なハーモニー
●ココナッツ	577円	ココナッツフィリングをミルクチョコレートでサンド! トロピカルな味わい
●ミルク	483円	人気ナンバー1!! ヘーゼルナッツパウダーを練り込みミネラルを多く含んだ砂糖の上品な甘みをお楽しみください
●ホワイト	504円	ココアバターとの濃厚な口どけ、まろやかなミルクとバニラビーンズたっぷりの甘い香りが人気
●オレンジ	504円	オレンジピールが入っているかのような爽やかな香りが広がるビターチョコ
●ウインター	682円	限定数量の幻のチョコレート。シナモンとコリアンダーが醸し出すスパイシーでアロマティックな香りに包まれます。とろけるような滑らかな口どけ

『今年の清掃の出来事』

**増田 真理子**

私は7月4日水曜日までは清掃に行きましたが、7月25日水曜日から仕事をお休みすることになりました。

清掃の出来事の夏はインテルの清掃で汗がいっぱい出てトイレの中があつくて大変でした。あと男子更衣室はものすごくあつかったです。夏はあつくてたいへんでした。

そして今年9月から山口さんと松村さんと木原さんは清掃を卒業しました。10月から新しいメンバーになりました。



ひだまり4人こころや2人です。新しいメンバーと一緒にがんばります。

『出張販売について』

**井口 真二**

出張販売をするようになって一年が経ちました。なので自然と声ができるようになりました。これからもがんばっていきます。

買い物でまちづくり貢献を

**障害者支援団体が販売**

一部売り上げ 市基金に

札幌市内の障害者支援団体が、市内各所で販売活動を行い、その一部売り上げを市基金に寄付する取り組みが、市民らから大きな反響を呼んでいる。この取り組みは、障害者支援団体による社会貢献活動の一環として、市民らから大きな反響を呼んでいる。この取り組みは、障害者支援団体による社会貢献活動の一環として、市民らから大きな反響を呼んでいる。

たねやの出張販売が2012,10,19発行の北海道新聞朝刊でとりあげられました♪

就労継続支援事業A型 印刷物版下制作・製本  
共働事業所 ポスティング・DM発送  
その他の軽作業

# きばりや



## きばりやのギフトセットが出来ました！！

門田 輝美

きばりやのオリジナルギフトセットが出来ました。化粧箱選びからギフトカード制作、レイアウトなどを担当したので、出来上がった時には感慨深いものがあり、みんなに「見て、見て！！」と年甲斐もなく大はしゃぎで見せて歩きました。

美味しいと大好評の、きばりや自慢のオリジナルコーヒーをギュッと詰めたドリップコーヒーは、袋の封を切るととても良い香りが広がり、美味しさは申し分なし。朝の忙しい時間でも、お湯を注ぐだけで、簡単に香り・美味しさを楽しめます。

がんばのオリジナルクッキーは、材料を厳選し、小麦粉は国産小麦を使用、バターはもちろんよつ葉バター。使用している砂糖の種類はクッキーの種類に合わせて5種類以上で、混ぜもののナッツやフルーツは、出来るだけ国産からさがし、無いものはオーガニックを使うこだわりようです。合成香料やショートニングなどの人工の物は使わず、材料の本来の力で創り上げた健康クッキーです。いただいた方に喜んでもらえるギフトセットだと思います。ぜひご利用くださいね～！！詳しくは21pをご参照ください。



## あらゆる角度から観ること

加藤 信一

今年から始まった「いちご事業」ですが、残念ながら10月をもって終了しました。農業の仕事に携わるのは初めてだったのですが、大自然の中の仕事は非常に気持ちの良いものでありました。それと同時に、ある意味「命」を育てるという大変な仕事であるとも思いました。病気や害虫から守るために「いちごの収穫」というより「いちごのお医者さん」という感じで、あらゆる角度・感覚で観ることが大切でした。

そういった意味では「いちご」に限らず、あらゆることを「あらゆる角度」から観ることが必要ではないかと思えます。人間関係にしても、その人の一面だけを観るのではなく「こんないいところもある」と再発見することができるのではないかと思えます。

先日、山中教授がIPS細胞でノーベル賞を受賞し、細胞の初期化に成功しましたが、考え方の固定観念も初期化した方がいいのかな…と私自身は思いました。

## すっかり秋になりました

星 ☆ 悠

もうイチゴおわってさびしくかんじます。来年イチゴがあったらやりたいです。もし来年なくなったらなんとなくなしくなります。

でも、新しい仕事が入ったらやってみたいです。新しい仕事が入ったら自分の勉強になるからです。

## 共働事業所 きばりや

〒063-0812 札幌市西区琴似2条5丁目3-5 マンションMOMO1F  
TEL:(011)644-5533 FAX:(011)613-9323

## Cafe de キバリヤ

〒060-0808 札幌市北区北8条西3丁目 札幌エルプラザ3F  
TEL/FAX : (011)758-6533

## 焼き菓子づくりをしてみ

カフェ 鈴木 昭子

最近のカフェは秋も深まり、少しずつ温かい飲み物が出るようになり日々寒くなるなあ…というのを実感しています。

私はというと、毎日働きながら時々スタッフと焼き菓子を焼いたりしています。クッキーの生地を作ったり、形抜きをしたりと少し違うことにも挑戦しながら過ごしています。目の前で、焼いたお菓子が売れていくのを見ると、最近は少し嬉しくなります。

これからの時期はどんどん寒くなっていくので、身体に気をつけながら働いていきたいと思っています。

## ～cafe de きばりやより～

### 今月のおすすめ



スーププレート  
(コーヒー付)  
**550円**

スープは日替わりで  
・じゃがいものポタージュ  
・かぼちゃのポタージュ  
・ミネストローネ、等々

たっぷりの野菜で栄養満点のスープは、長かった夏の疲れを癒してくれます。カフェ・ド・キバリヤでほっと一息、秋の味覚をお楽しみ下さい。



**コン・ブリオ ひだまり**  
 札幌市西区琴似2条3丁目2-37 サンハイム1階  
**TEL 615-4131 FAX 615-4132**  
 E-mail : konburio@npolife.net  
 営業時間：月～木・土10:30～6:00 金10:30～21:00  
 休業日：日曜、祝日、年末年始

\*\*\*\*\* コン・ブリオひだまり新たなスタート!! \*\*\*\*\*

9月より、お弁当をまちかど荘で作り、配達することになりました。お弁当の担当は菅野さんとメンバー3～5人、だいぶ備品なども揃い落ち着いてきたようです。

それとともにひだまりは、メニューを大幅に増やし、洋食も取り入れ、毎日通っても飽きない一人でも食事のしやすい“街の食堂”を目指しています。

お店のディスプレイもいかに目に付くようにするか、知ってもらおうかを考えた結果、少しずつです

**佐藤 加奈子**

が、新規のお客様に「いつからお店あったの?」などと言われて、気がついて来店してもらえるようになってきています。

食堂担当のメンバーも徐々にお客様へのお茶入れを覚えたり、より良い接客を目指して笑顔で努力しているので、自分の仕事として習得し、飲食店を営業する楽しさを感じながらみんなで協力していきたいと思います。

**<ご挨拶>**



..... **松崎 かおる**

私は9月5日から入った松崎かおるです。猫とうさぎが大好きです。2年前うさぎを(しんのすけ)飼っていました。



食べ物はハンバーグが好きでよく作ります。家の人達も大好きですよ!



休みの日はイオンでただでコーヒーをちゃっかりもらって飲んでいます。こんな私ですが、宜しくお願い致します。

**10月16日(土)**



..... **伊藤 美由紀**

星置フェスティバルバザーで私は、たねやさんのお手伝いで奥井忠宏さんと井口さんと高橋さんと一緒に仕事をして楽しかったです。

廊下にもテレビ父さんが来てくれました。楽しい仕事でした。



**☆キッチンニュース!☆**

**ひだまりにさらに新メニュー登場!!  
 ろん肉のスパイシーカレー**

ワンコインではありませんが・・・  
 とてもおススメです!  
 レシピは企業秘密ですが、ぜひ一度食べに来て下さい!  
 風邪気味なとき、悩み事があるとき、元気が出ないとき・・・間違いなくパワーがでます!!  
 (金曜日の夜も食べられます。)

**ひだまりオリジナル**





ヘルパー派遣業務・在宅介護支援

ヘルプステーション

ゆい  
繭結

札幌市西区二十四軒4条6丁目5-32 テラ二十四軒1F TEL 011-623-2505 FAX 011-644-0088

## 『ヘルパー3年目を迎えて』

登録ヘルパー 田中 康寛

私が、ヘルプステーション繭結に登録してから8月で3年目に入った。そして、この『あどぼけ』に投稿してから丁度1年が経った。

前回のあどぼけには、「根拠ある活動をしていきたい」という様なことを書いたが、それから1年が経過して、果たして自分は実現出来ているのか？ いや、実現は出来ていなくても、そういった目標に向けて研鑽・精進しているのか？ 自問してみる。

正直、慣れと惰性は恐ろしい…。毎日の活動を一生懸命・精一杯こなすことを活動に入る前に毎回決心しているのだが、活動が終わる度に「独り大反省会」の1年間であった。いや、今も現在進行形である。つまり、自分では1年間の成長を実感できずにいるのである。確かに、活動はスムーズにこなせる様にはなった。多少のハプニングにも、動揺してグダグダになることも少なくなった。活動終了後の充実感もそこそこにある。しかし、「もっとできたのではないか？」という自分への物足りなさが、活動毎に残るのである。

こうして、帰宅する移動中に活動した内容を思い返すと、「ああすれば良かった…」「あ、アレをし忘れた…」「何故、もっとできなかったのだろうか…」という様なことで頭が一杯になる。そして、「あの時はどうするのが良かったのか？」「次回はこうしてみよう！」と考えて次回に挑む訳であるが、なかなか実践できていないと思うのが正直な心境である。つまり、私は毎日悩みながら活動しているのだ。活動中は悩んでいるヒマは無いので、考え込むことはないが、活動以外の時間は殆どこうした思考で頭が埋め尽くされている(大袈裟です、少し…)。

このままではイケナイと思い、プライベートを充実させる試みにも挑戦(ラテン語の習得・福祉大学での履修…)しているのであるが、あつという間に時間が過ぎてしまう。どれもが進行中であり、完了していない。つまり、プライベートも充実していないのだ。いや、本当に。

とある同輩ヘルパーからは、「カサついている」

「潤いが無い」とまで言われた…。ヘルパーの活動に慣れてきたので見聞を広げようとしているのだが、何か間違ったベクトルに進んでいるような気がしなくもない。そこで、今一度ヘルパーとしての自分に再確認を試みる。

ホームヘルパーとは、「介護を必要とする居宅を訪問し、介護や家事あるいは生活等に関する相談・助言などの日常生活上のお世話といったサービスの提供に従事する者」(参考：『六訂 社会福祉用語辞典』中央法規出版 平成24年)とある。つまり、サービス利用者の生活を支えるために様々な場面でお手伝いをするのがホームヘルパーの活動である。

このホームヘルパーとしての活動に、どのような意義があるのか？ それは、サービスの利用者と提供者が共に「自分の生きがい」を実感することにあると、私は考えている。私がホームヘルパーの研修に入る前に読んだ本の中に、以下のような記述があった。「他者の自己実現を助けることが、とりもなおさず私たちの自己実現につながるのである」(ミルトン・メイロフ『ケアの本質』ゆみる出版1987年 196頁)と、ホームヘルプ活動の本質を見事に表現している。

つまり、サービスの利用者は、「自分の生きがい」のためにサービスを利用して、サービスの提供者であるヘルパーは、利用者の「生きがい」を充足させるの見て、自らの活動意義を認識するのである。これは、サービスの利用者との関係性の平等を示しており、決して、サービスを受ける利用者が一方的にサービスの恩恵を受けているわけでは無いことを示している。だから私は、よく訪問先で「ありがとう(ございます)！」という言葉をお口にします。ホームヘルパーとして私が活動できていることに心から感謝しているのだ。同時に、単なる私の自己満足にならないように活動後の反省が必要になるのである。正直、猛反省することもしばしばである。

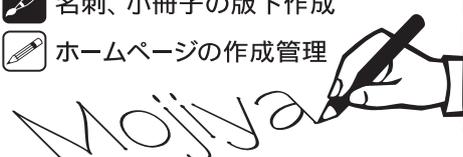
さあ、今日もこれから活動に入る。「お互いに感謝し合える関係を発展させていきたい」との思いを心に刻みながら。



# 共働事業所 もじや

〒064-0808  
札幌市中央区南 8 条西 2 丁目 5-74 市民活動プラザ 星園 104  
TEL (011)596-6583 FAX(011)596-6584  
E-mail:mojiya@npolife.net

- 印刷・編集・制作・出版・企画
- テープ起こし
- 名刺、小冊子の版下作成
- ホームページの作成管理



## 『長かった入院生活』

岩崎 佑司

10月2日に無事退院をし、9日よりもじやに復帰しました。

6月に行われたライフの総会の時からなんとなく体調に異変を感じ、風邪かな？と思い、実家近くの内科を受診しましたが、点滴治療を行い薬を服用してもあまり回復しませんでした。西区の別の病院を受診したところ、胆のう炎という病名を告げられましたが、頭の上では？マークがたくさん浮かんでいました。しかし、発症の原因を聞いているうちに、思い当たる節が多々ありました。

さらに、胆石もあるとも言われ、普段の自分の生活を思い返してみると自業自得で、なるべくしなつたというのが現在の正直な感想です。

胆のう炎の治療も終わりやっと退院かと思ったら、内科の主治医の方から、「じょくそう(床ずれ)が見つかり、この病院では治療が困難なので、中央区の専門の病院を紹介します。」と言われ、7月11日に転院しました。その日に主治医の方から説明があり、脊損患者にとってじょくそうは生活習慣病の一種とのことでした。僕の場合はかなりの重症だったらしく、「夏の間は病院ですごしてもらいます。」と言われ、入院生活は約3か月と、ほんとに暑い夏をすごしました。

今回の入院で得たものは、規則正しい生活習慣を身につけ偏食しないことと、ちょっとでも体調に異変を感じたらすぐに病院へ行こうということでした。

## 『小さい秋みつけた』

永島 勝章

やっと夏の暑さから解放され、過ごしやすい季節となった。

先日、星園祭に行きがてらサイクリングロードを通り、栗を拾う人、マラソンをする人、競技用の車イスで練習をする人、様々な人たちが行き交う中を散策しながらプラザ星園まで来た。

星園祭では、たねやの物販で働きに来ている奥井さんと南君を横目に、おいしいカレーをいただいた。2階では各国の衣装、劇団千年王国の演劇、竹トンボ作り、コマ回し、写真の中で世界遺産めぐりを味わえるコーナーがあり、大人も子供も楽しんでた。

ステージでは大道芸、落語、札幌のご当地アイ

ドルなどが客席を和ませてくれていて、まさに「芸術の秋」を思わせるお祭りだった。

これからどんどん寒くなり厳しい季節「冬」に突入する。短い秋を存分に満喫しながら、仕事の英気を養いたいと思う。

## 『6年間を振り返って』

平田 信也

私が、ライフ(当時はワープロフロア)に入ってから6年になって、いまだに印刷スキルが上がっていないことに自分でも情けなく思っているこの頃です。

印刷といってもいろいろあって、名刺の種類、紙の種類、色インクづくりなど、覚えることがたくさんあります。特に難しいのが色インクづくりで、色の調合のしかたひとつでまったく違う色になってしまうので本当に難しいです。これからも、今まで以上にがんばっていきます。

## 『最近のこと』

中橋 敬人

今年は、暑くて汗をすごくかいてタオルは、3枚も使いました。

今すこしずつですが仕事を覚えていくようにノートに書いているのですが、その言われたことを行動できず、いつも怒られてちょっと涙が出てしまいました。でも、怒られながらもめげずにがんばるぞ！っていう気持ちを持って仕事をしています。つぎの日は、仕事をやりながらもべんきょうをしてやっています。

いちばん怒られるのがハンコにしもんをつけることです。ハンコをエッチングのえきでカットメソにひたしてぬります。自分では、きをつけてやっているつもりが、ゆびでさわって印刷したらゆびのしもんがあつて、またハンコをだしなおしてやりなおしています。

落ち込んだ時は、友達とカラオケに行っています。歌が下手でも気にしないでどどん曲を入れて歌います。それとたまに回転寿司を食べに行っています。

失敗してばかりいますが、怒られながらも覚えていって印刷の機械を使えるようにしていきたいと思ひます。がんばります!





# ライフで共に働く 障害者メンバー募集中♪

## 就労継続支援事業B型 たねや

♪♪ たねやで一緒に販売してみませんか!?



たねやでは店舗販売・出張販売・清掃委託業務・軽作業を行っています。

店舗では「体に優しい」食品や手づくり雑貨を厳選して販売。現在は販売に力を入れていることもあり、接客に興味がある人は特に大歓迎です。その他、清掃や軽作業に興味がある方も是非下記までご連絡ください。

一緒に自分に合った仕事を探しませんか!?



※毎日元気に出勤できる方優遇  
♪♪♪ 問い合わせ:011-613-0611  
担当 島・奥井



## 就労継続支援事業B型 こころや

あなたのところに!! 私のにところに!!  
『こころや』です。

『こころや』では下請け作業やお米の卸し・販売の仕事を通じて、個性豊かな仲間たちが、時には面白く、時には真剣に仕事に取り組んでいます。

一緒に働いてみたいという方はもちろん、見学だけでも構いません。

ご連絡お待ちしております。

問い合わせ:011-614-1871  
担当 小黒・岡田



## 就労継続支援事業B型 ひだまり



コン・ブリオひだまりでは、店内で提供するお料理とテイクアウトや従業員用のお弁当を作り、笑顔で接客し、体に優しい商品を売っております。

現在、メンバー12人とスタッフ3名で一生懸命楽しく働いております。

料理が出来なくてもスタートはみんな一緒にです!みんなが優しく教えてくれます★

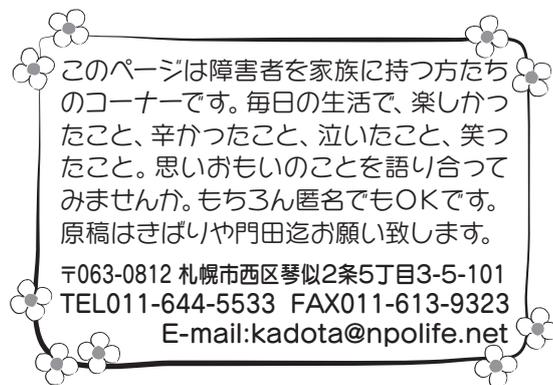
一緒に働いてみませんか??!

ご応募お待ちしております!!

問い合わせ:011-615-4131  
担当 小野寺・佐藤



私たちが4月から  
新メンバー(2人)が  
楽しく働いています!!



## …\*…\*…\* 障害の上にあぐらをかくということ \*…\*…\*

きばりや 門田 輝美

以前の職場で障害者のAさんという人と一緒に働いていたことがある。Aさんは「コピーを取ってきて」「FAXを送って」「落ちた物を拾って」「あれを探して」とことごとく私を動かした。

障害者と一緒に働くのが初めてだった私は、はじめは従っていたが、どうも様子を見ていて自分で出来ることまで当たり前のように周りにやらせていた。私は仕事をしている自分の手を止めてまでいちいち本人が出来ることまで手伝うのはおかしいと思い「出来ないことは手伝うけど、出来ることは自分でやって」と言う。「そっちがやったほうがはやいんだからやって」と言う。確かに私がやったほうがはやいが、それはその人のためにならないと思ひ、出来ないことだけを手伝うようにした。

Aさんは、誰かがミスをすると鬼の首を取ったかのように責め立て、自分の失敗は笑ってごまかす。そこを指摘すると「人に厳しく自分に甘いのは当たり前だ。みんなそうだろうか？」と平然と言ったのけた。

ある時、郵便局でAさんを見かけた。Aさんは郵便局員を呼びつけ「あれを手伝え、これを手伝え」と思いっきり手伝わせていた。手伝わせていたという表現がピッタリなくらい威張っていたのだ。結局Aさんは職場だけでなく社会でもこうして威張り腐って生きてきたのだろうか。

私は障害者、健常者に関係なく人は助け合って生きていくものだと思う。だから私も自分の出来ることは一生懸命やるし、出来ないことは障害があるなしに関わらず、出来る人に手伝ってもらって、「ありがとう」の言葉は忘れないようにしている。人は誰でも周りが喜んでくれたり、自分が人の役に立てたら嬉しいものだと思っているし、自分の存在価値さえ見いだせるものだと思う。

たとえば自分が病院のベッドで体が動かなくても感謝することは出来るのではないだろうか。

看護師さんは仕事だから患者の面倒を見るのは当たり前かもしれないが、それは本人が思うことであって、お世話してもらおうほうが当たり前と思うのは間違っていると思う。心からの「ありがとう」が言えたら、看護師さんは自分の仕事に誇りを持ってやるし、やりがいも出来る。おみまいに来てくれた人に、「ありがとう、来てくれて嬉しい。おかげで元気が出た」と伝えられたら、来てくれた人は「来てよかった」と心から喜べる。だからこそ、お世話になるほうもお世話するほうもお互い様なのだ。

障害があるから健常者が助けてくれるのは当たり前というAさんの態度は、自分の障害の上にあぐらをかいているのと同じだと思う。

なぜこんな性格になってしまったのだろうか？子どもの頃から親や周りの人間に、障害をもっていることを理由に、あまやかされ、許され、または腫れものに触るようになされた結果、感謝というものを忘れてしまったのだろうか？

私には知的障害Bの娘がいる。たとえ知的障害者でも悪いことは悪い。娘も散々人のお世話になり迷惑もかけてきたが、お世話になると迷惑をかけるのは別だと思ひ。出来なくても出来ないなりに一生懸命頑張るように教えてきた。

娘が通っている作業所のトイレを何回か故意的に詰まらせて業者を呼んだことがある。作業所側はいらなと言ったが、毎月の工賃から千円ずつでも弁償させてくれるように頼んだ。一度に返してしまうと忘れてしまうので工賃日の度に、トイレを詰まらせたなら周りにどれだけ迷惑を掛け、業者にどれだけお金を支払うのかを毎回説明してくれるようお願いした。娘は少ない工賃から毎月弁償した結果、トイレを詰まらせなくなり、自分でした失敗は自分で責任を取ることを覚えた。

同じ障害者の親仲間「うちの子は障害があるのだから周りの人が理解すべき」と思っている親も

いる。それは周りの人間が思うことで、当事者や親が思うことではない。

また、周りの人間がみんな理解ある人ばかりではない。世の中にはいろいろな人がいるのだから、いつでも自分が許される存在ではないということをお娘に言い聞かせてきた。

障害をもつ自分の子どもを周りの人に背負わせたがる親や、子どもから逃げたがる親もいる。出来る限りのことはやって、足りないところを助けてもらうのが本当だと思うのだが…。結局、親も子どもの障害の上にあぐらをかいているのだ。

私ももう一度自分に問うてみる。私は障害の上にあぐらをかいていないだろうか？



## “ある日の出来事”

寺嶋 峰子

私には、知的障害を持った息子がいます。少し前になりますが、家に帰る車の中でのことです。

ふらふらしながら、タバコに火をつけている人が見えてきました。その様子から、障害を持った人でした。その時に、息子が「こういう人がいるからぼくたちも悪く見られるんだ」とめずらしく、力強い言葉でした。

自分と同じ障害者が、歩き煙草で人に迷惑をかける姿が本当にいやだったのだと思います。

感情を表に出すタイプではないので、過去に何か感じることがあったのかも知れませんが、これから色々なことを感じながら、真っ直ぐに生きて欲しいと思います。

## ……コラム…… 談論風発

### ◆ 混ぜればごみ、分けると資源 —

このフレーズを実感する仕事に関わって3週間になります。大型スーパーの「ゴミ庫」と呼ばれるヤードで、各売り場から出される資源ごみの分別作業が、この10月から私たちが請け負っている仕事です。

早朝から深夜まで、膨大な資源ごみが排出される中から分別するのですが、紙の中にビニールやプラスチック類が混ざっていたり、使ったティッシュや布類が混じっていることが多々あります。驚くのは、排出される賞味期限前のパンや肉、野菜等の「生ごみ」量の多さです。「低価格を生み出す大量生産・大量販売の陰には、こうした大量の廃棄物の上に成り立っているのか」と、この国の消費文化、物づくりのあり方に疑問を感じる日々です。

使い捨て文化と揶揄され、非正規労働者の増大等、人までが使い捨て時代に入って随分経ちますが、こうした裏方の現場を支えているのは、最賃で働くパートや非正規労働者であり、一店舗で働く人の8割近くを占めているようです。

### ◆ 分け隔てではなく、交り合う社会を —

職業に貴賤なしと教わってきましたが、現実にはこうした現場の労働には明らかに貴賤があるように見えます。収益増の裏にある格差社会の現実、労働者間の格差だけではなく、自然や命の格差にも繋がっているように思えます。

ライフでは、印刷や飲食販売の仕事だけではなく、清掃業務やリサイクル業務等も積極的に取り組み始めています。しかし、「そんな仕事はうちの子にはさせないで」と言われたりもしますが、自然

環境を守ることも、社会の営みを維持していくためにも、清掃やゴミに関わる仕事は重要なはずですが、大げさにいえば、命をつないでいくためにも必要なことです。

共に生きる、共に働くことは、人と人（社会）のつながり、交り合いの中からつくり上げていく考え方だろうと思います。私たちは、それぞれの特性や事情を勘案しながら仕事づくりに挑戦していますが、自然を大切に、人間を大切に、働き方を求めていきたいと思っています。

### ◆ 曲がったキュウリでもいい —

命を大切にするという事では、農業へのアプローチも4年ほど前から始めています。有機野菜の共同購入、農家との協働の実験、いちご生産の取り組み、低農薬米の販売等々です。

わずかな取り組み経験ですが、生産者が丹精込めて作った農産物は、大手スーパーの規格に合わなければ規格外作物となり、商品価値が無いとされています。流通等の効率化という名目で作物の規格化がなされ、規格外の廃棄される作物の多さに驚きます。

農業の6次産業化が話題となりますが、私たちは、規格外とされる作物の有効利用を考え、社会的事業の取り組みとして進めてみたいと考えています。

曲がったキュウリでも、二股の人参でも、虫食いでも、命をつなぐ糧なんです。生産者の苦勞を共有し、自然の恵みを享受出来る仕事づくりは、排除しない、切り捨てないという共働の理念と重なり合うのだと思います。 (石澤利巳)

# 「ぼくたちだって人間だ!!」

## 新聞掲載報告 ~ ころやの岡林さんが著書とともに、北海道新聞中空知版とプレス空知(株式会社空知新聞社)で取り上げられました。

第3種郵便物認可

(7)

(第3種郵便物認可)

### 病を越え 生きる

「赤平」脳性まひと向き合いながら赤平小18歳で、赤平中央を21歳でそれぞれ卒業し、現在は札幌で自立生活する岡林満美さん(53)が自らの半生をまとめた本を出した。自由に動かない両手の代わりに左足の親指で床に文字を書いて意思疎通を図る岡林さんは「小中学生の自校のニュースが多い。子供たち読んでほしい」と語る。(荒井友香)

「小さな手 人生を 書」ぼくたちだって人どが取められている。来た。少し歩けるよう 進んでいなかった時代 出て自立生活をするよ 変えた手」それでも 間だ!!」には岡林さん 岡林さんは赤平で仮 になったが、母芳美さん うになり、NPO法人 版(011-6333 僕の手は一つ 何もで 書きためた詩や仲間 死状態で生まれ 1歳 言葉はほとんど話せな らの熱意で就学許可を 札幌・障害者活動支援 ・6666)。A5判 きなくとも一つ」。著 からの紹介文、対談な 前に脳性まひと診断さ かった。障害者理解が 得て13歳で赤平小2年 センターライフで仕事 1322名、800円。

「赤平出身岡林さん 脳性まひの半生 自伝に」

「多くの人のおかげで僕がいる」と著書を得る岡林さん

生となり、初めて小学 校で学び始めた。 足に鉛筆を挟み詩や の詩に感動し、本にす 短歌を書き、書道にも ことに。常に前向き 挑戦。18、21歳は赤平 な岡林さんだが、自殺 を考えたこともあると いう。著書には偏見に 車いすで修学旅行にも 出かけた。卒業後は北 湯沢や札幌の施設で生 活し、オセロの全国大 会やよさこい踊りのチ ャムにも参加した。 専務理事は「個人史だ けれど北海道の障害者 福祉の歴史が反映され たのは、49歳で施設を ている1冊」と語る。

### 半生綴った本を出版

脳性まひの感謝の気持ち伝えたい 岡林満美さん

【赤平】障がいをも 国大会まで活躍する ちながら、オセロの全 岡林満美さん(53) 赤平市出身が「このほ ど、みずからの半生を まとめた本を出版し た。21日には、ふささと赤平市を訪れ、高尾市長らを表敬訪問。本 を贈呈し、出版を祝う とともに久しぶりの再 会を喜んだ1書真!!

岡林さんは、昭和33 年に仮死状態で生ま れ、脳性まひの障がい 児となるものの、赤平 小学校、赤平中学校を 卒業。リハビリセンタ と、赤平市役所へ表敬

1に入所後、オセロと 出合い、全国大会を どで活躍し、現在は日本 オセロ連盟の公認指導 員としても活躍する。 また、YOSAKOI イーランチーム「動 夢舞(ごんまい)」に は早くから所属し、い まも在籍。現在は、札 幌市のNPO法人札幌 障害者活動支援センタ ーで自立した生活を送 っている。

今回は、これまで多 くの人に支えられた感 謝の気持ちを1冊の本 にまとめ、出版。ふる さとに寄贈したいと、赤平市役所へ表敬

訪問した。 当日は、回センター 石沢昌博理事らと ともに、岡林さんが高 尾市長訪問。早速本 を手渡し、渡邊教育長 を含めて再会を喜ん だ。

高尾市長 渡邊教育 長ともに古くから岡林 さんとほ面識があり、 「がんばっている姿を 見ることができうれ しい。これからもがん ばってください」など とエールを送ってい た。

【佐藤孝】

地域の話題を お寄せ下さい  
赤平支局番 市外局番  
0125  
TEL33-7797  
FAX33-7798

2012.9.26  
プレス空知

2012.9.25 朝刊  
北海道新聞中北空知版

震災復興は雇用の創出から  
いまこそ社会的事業所の出番です!

02 誰もが働ける社会を

講座 障害者等の雇用を考える 社会的事業所の役割 報告集

公は制度がないと動かないし、儲からないと 民は動かないけど、公でもない民でもない、 この社会の我々の生き方というのを とりあえず「社会的事業所」と呼ぼうか

前ナイス代表取締役 岡田 一幸

講演記録  
「障害者等の就労を考える 社会的事業所の役割」

社会的困難を抱える人々との「共働」をめざす、「社会的事業所」 制度の法制化は急務であります。

社会的事業所とは何か?

その理念と実践の取り組みが解りやすく語られています。

NPO ライフブックレット No.2  
2011年6月30日発行  
『誰もが働ける社会を』  
定価 1,000円(送料別)  
A5判 140ページ



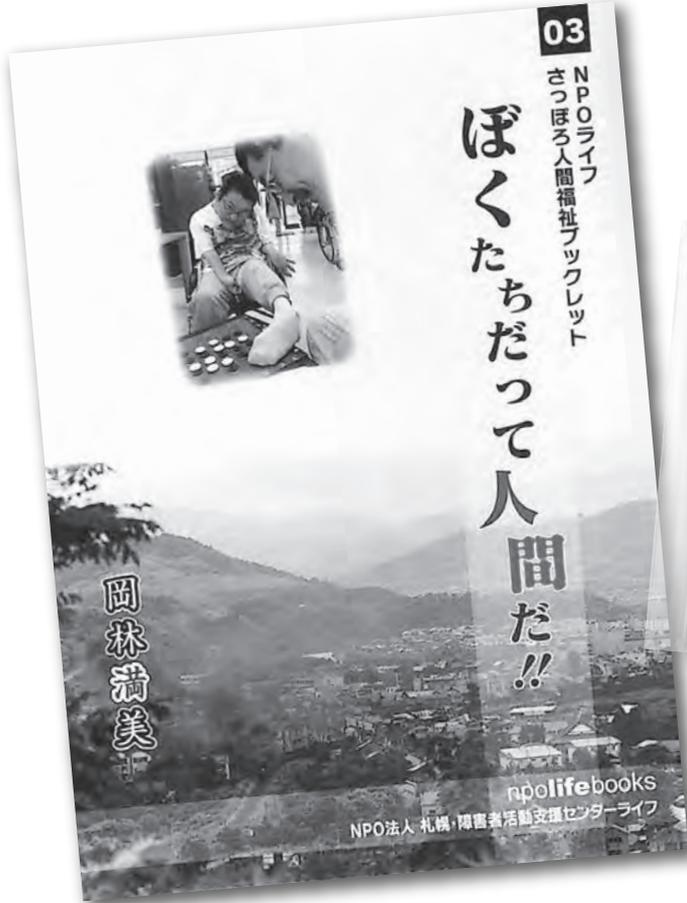
私たちは「福祉」という言葉を好まない。それは、「福祉施策」を必要とする人々を見下したときに使われることが多いように感じられるから…

本来「人間福祉」であるべき「福祉」が、今、「制度としての福祉」になりさがっている」という社会福祉法人この実会の加藤孝さんの言葉に触発され、『さっぼろ人間福祉ブックレット』を発行する。

NPO ライフブックレット No.1  
2008年8月31日発行  
『収容施設はもういらないうまで』  
定価 840円(送料別) A5判 72ページ

# ライフの事業所 ところや在籍の岡林満美(おかばやし みつよし)さん執筆 NPOライフブック 待望の 第3段

**絶賛発売中**



障害者として生まれた満美。

話すことも、自由に動かすことも出来ない手足で  
自殺まで考えた彼が今、

『生きていて幸せだ。』と言えるのは…

岡林満美、渾身の一冊、**ぼくたちだって人間だ!!**



**CD 岡林満美  
僕たちの小さい命  
同時発売!!**

NPO ライフブックレット No.3

2012年8月31日発行

『ぼくたちだって人間だ!!』

定価 800円(送料別)

A5判 134ページ

2012年8月31日発売

『僕たちの小さい命』

定価 300円(送料別)

※ 同時購入 1,000円(送料別)



**危機の時代こそ新しい考えを試す好機!  
社会的事業所促進法を!**

## 社会的排除からインクルージョンへ

### 経済の民主主義と公平な分配を求めて

共同連が30年、40年と運動を重ねてきた「共働事業所」は、障害者と健常者が地域で共に生き・共に働くというものであった。

これまで障害者と健常者が一つ傘の中で雨宿りしていたところに、ひきこもりやニート、依存症者や刑余者、ホームレスの人や生活保護を受給している人たちも一緒に、もっと大きな傘の中で雨宿りをする、それが「社会的事業所」なのである。

私たちの試みがたとえ今は小さなものであっても、その問題提起は大きなものと確信する。

『日本発 共生・共働の社会的企業』

編者 特定非営利活動法人 共同連 定価 2,100円(送料別)

2012年9月10日発行

195×135 240ページ

●ブックレットのお申し込みは ——  
NPO法人札幌・障害者活動支援センターライフ

札幌市西区琴似2条5丁目3-5 マンションモモ1F  
TEL:011-633-6666 FAX:011-613-9323  
mail:honbu@npolife.net HP:http://npolife.net/



NPO 法人 札幌・障害者活動支援センターライフ

# ゆめぴりか



こころやは平成24年度産低農薬米 ゆめぴりか の年間契約販売を始めます。

年間60kg以上 (10kg単位) の注文から契約させていただきます。

北海道の優良品種  
極良食味米

■5%割引

年間契約をしていただくと値段より5%引かせていただきます。  
通常5kg 2,250円、10kg 4,500円のところ  
60kgの場合27,000円が25,650円になります。

安心・安全!!

新鮮!!

栄養価たっぷり!!



3kg 1,350円

5kg 2,250円

■有効期限

2012年10月~2013年9月30日の1年間

■配送について

年間60kg以上契約のお客様は配送料無料。  
範囲は琴似周辺応相談。

※ご希望の方はこころやへご連絡下さい。FAXまたは郵送で申込み書を送付させていただきます。

※ ご要望に応じて玄米から白米まで精米いたします。

..... お買い求め・年間契約のお申し込みは .....



## こころや

札幌市西区琴似2条5丁目3-5マンションMOMO1F  
TEL:011-614-1871 FAX:011-613-9323

.....



## コン・ブリオ ひだまり



食堂メニューをリニューアルしました!

- ・ 本日の選べる定食 魚or肉
- ・ 生パスタ(ナポリタン・バター醤油・ペペロンチーノ)
- ・ 焼きたてミックスピザ
- ・ 自家製ダレの豚丼
- ・ 親子丼
- ・ 野菜たっぷり肉チャーハン
- ・ カレーライス
- ・ ハンバーグ定食
- ・ うどん・そば(温・冷)

佐藤シェフのおススメ!!

ALL ¥500で  
ボリューム満点!!



写真はイメージです

2012

— NPO 法人 札幌・障害者活動支援センターライフ —

# お歳暮特選ギフト

商品番号 1

## 三大がにセット

- ポイルたらばがにセクション 1.0kg
- ポイル毛がに姿 1尾 (400g)
- ポイルずわいがに姿 1尾 (600g)



税込価格 **10,000円**

クール便

商品番号 2

## 塩数の子

●300g

パリパリとした食感が特長のお正月の定番、塩数の子の化粧箱入り贈答用です。



税込価格 **3,000円**

※原料事情により、サイズは異なる場合があります。

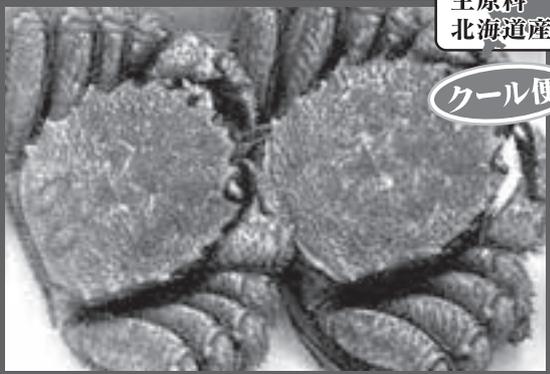
# 北の海鮮めぐり・物

商品番号 **3**

主原料 北海道産

クール便

**KL毛がに2尾**



●ポイル毛がに姿2尾 (800g)

おすすめ!

税込価格 **4,800円**

商品番号 **4**

主原料 北海道産

クール便

**ずわい甲羅盛りセット**



●ずわいがに甲羅盛り (60g × 4個)

税込価格 **5,000円**

活きたずわいがにから仕上げたこだわりの品です。ずわいがにの美味しさをギュッと詰め込みました。

商品番号 **7**

主原料 北海道産

クール便

**銀聖刺身&いくらセット**



●銀聖の銀さし造り 200g × 1p

●いくら醤油漬 250g × 1箱

税込価格 **3,800円**

銀聖のお刺身用「銀さし造り」と、鮭から造ったオリジナル魚醤油で丁寧に仕上げた「いくら醤油漬」をセットにしたこだわり2品の贅沢な詰め合わせ。大切な方への贈り物にピッタリ。

商品番号 **8**

主原料 北海道産

クール便

**H]ぼたんえび&帆立**



●ぼたんえび 500g

●帆立貝柱 500g

税込価格 **6,000円**

※原料事情により、サイズは写真と異なる場合があります。

商品番号 **11**

主原料 北海道産

クール便

**銀鱈物語6種セット**



●紅鮭西京漬 2切 ●しまほっけ甘味噌漬 2切

●秋鮭甘味噌漬 2切 ●銀鱈粕漬 2切

●キングサーモン西京漬 2切

●トラウトサーモン粕漬 2切

税込価格 **5,400円**

商品番号 **12**

主原料 北海道産

クール便

**北海道産限定 開き物セット**



●開きさんま2尾 ●なめたがれい1枚

●ほっけ開き1枚 ●こまい 200g

●ししゃも(オス)10尾

税込価格 **4,200円**

北海道産の原料に限定し、前浜の新鮮で美味しい魚を丁寧に干物にししました。大きなホッケやなめたがれいなど北海道らしい魚の詰め合わせです。

# 厳選ギフト

NPO 法人 札幌・障害者活動支援センターライフ

共働サービス たねや

TEL:011-613-0611 FAX:011-644-0088

〒063-0804 札幌市西区二十四軒4条6丁目5-32 テラ二十四軒1階

数に限りがありますので、売り切れの際はご容赦ください。

商品番号 **5** **クール便**

**海鮮塩だれ鍋セット**  
小樽産えび魚醤入り



●生冷たらばがにカット 300g ●すけそうだら切身 40g×3切  
●ポイル甘えび 6尾 ●ポイル帆立 3個 ●かに入つみれ 3個  
●えび入つみれ 3個 ●油揚げ 2枚  
●ラーメン 80g ●特製塩だれ 50ml×2

税込価格 **4,000円**

小樽産の甘えびを米麹と塩だけでじっくり 100 日間かけて熟成させた甘えびの魚醤を配合したオリジナルの塩ベースの鍋ダレが特徴の海鮮鍋。具材も豊富で、シメのラーメンは魚介のダシと塩ダレとの相性も抜群です。

商品番号 **6** **クール便**

**海鮮スンドゥブ・チゲ風鍋セット**



●わたりがに 3肩 ●すけそうだら切身 40g×3切  
●あさり 60g ●とりこほうつみれ 6個  
●豚バラ肉 60g ●焼き豆腐 10個  
●うどん 2玉 ●たれ 1袋

税込価格 **4,000円**

人気の韓国鍋「スンドゥブ・チゲ」風の海鮮鍋。魚介からでたダシに、豚バラ肉の旨味が出て、ピリ辛の鍋ダレは濃厚なスープに！日本風の焼き豆腐が濃厚スープとよく絡んでクセになる美味しさ！寒い冬にぴったり！

商品番号 **9** **クール便**

**いくら醤油漬**

主原料 北海道産



●70g(瓶入り) × 3本

税込価格 **3,300円**

北海道産の秋鮭卵を原料にした新鮮ないくらを瓶詰めしました。少量ずつの3本入になっておりますので保存にも便利です。贈答用にも最適です。

商品番号 **10** **クール便**

**紅鮭半身切身**



●1.0~1.1kg

おすすめ!

税込価格 **4,000円**

商品番号 **13** **クール便**

**ししやも**

主原料 北海道産



●オス 10尾 ●メス 10尾

おすすめ!

税込価格 **3,000円**

商品番号 **14**

**きばりやコーヒー& がんばりクッキーセット**



●7個入り化粧箱 ×1 ●7個入り袋 ×1  
●バラ 3個  
●がんばりクッキー 2袋

税込価格 **2,900円**

カフェド キバリア自慢のオリジナルコーヒーとがんばりクッキーのセット。お湯を注ぐだけで、簡単に、香り・美味しさを楽しめるドリップコーヒーと、無添加・オーガニックにこだわった健康クッキーです。

# 商品注文書

No.

※取り扱い事業所

NPO 法人 札幌・障害者活動支援センターライフ  
 担当事業所 共働サービス **たねや**

TEL:011-613-0611 FAX:011-644-0088  
 Mail:taneya@npolife.net

■住所・氏名の難しい漢字には、フリガナをお願いいたします。

■郵便番号・電話番号（市外局番含む）は、必ず記入して下さい。

**FAX(011)644-0088 入金後の発送となります**

お支払い方法（番号を○で囲んでください）

- 現金（代引はお取り扱いしておりません）
- 銀行振込／北洋銀行 琴似中央支店 (普)口座番号：4616684  
 特定非営利活動法人 札幌・障害者活動支援センターライフ  
 共働サービス たねや 理事長 我妻 武  
 (振込手数料はお客様負担となりますのでご了承下さい)

**送料は別途かかります**

※送料について

クール宅急便	道内 850円	道外 1,350円	宅急便 (着14のみ)	道内 500円	道外 1,050円
--------	---------	-----------	-------------	---------	-----------

一部地域を除き、全国配送可能（沖縄県、離島は別途 300円が加算されます）

差出人	お名前	フリガナ	電話番号
			( ) -
	ご住所	郵便番号 ( - )	

お届け先 ①	お名前	フリガナ	電話番号		
			( ) -		
	ご住所	郵便番号 ( - )		商品番号	
	のし	有・無 →	のし有の場合	頭書き お名前	
	商品金額	円	送料	円	合計金額
	配達希望日	月 日 ~ 月 日			

お届け先 ②	お名前	フリガナ	電話番号		
			( ) -		
	ご住所	郵便番号 ( - )		商品番号	
	のし	有・無 →	のし有の場合	頭書き お名前	
	商品金額	円	送料	円	合計金額
	配達希望日	月 日 ~ 月 日			

# 北海道の秋野菜も



## 味わう三種セット

秋の味覚の代表、玉葱・かぼちゃ・じゃがいもをお手軽な5キロ・10キロセットでお届けします

### ・玉葱（札幌黄）

札幌市内とその周辺でのみ栽培されていますが、栽培量が少なく「幻の玉葱」と呼ばれています。国際スローフード協会により「食の世界遺産」といわれる「味の箱船」に登録されています。オリゴ糖類が多く含まれ、オニオンライスや煮込み料理にどうぞ。

### ・かぼちゃ（M7）

M7かぼちゃは、甘みとホクホク感が強いのが特徴です。カロチンの含有量が多く、ビタミンCやB1, B2, ミネラル、食物繊維が豊富で老化防止にもなります。

### ・じゃがいも（北あかり）

北あかりは、男爵いもの改良種で、糖度も、ビタミンもデンプン質もたっぷり！ホコホコで甘みが強く、実が黄色なので、別名、栗ジャガと言われている大人気の品種です。火の通りやすいお芋ですので、ちょっと短めに火を通し、余熱で芯まで加熱されると、型崩れが少なくなります。

<b>5kgセット</b>	<b>1,500円(税込)</b>
玉葱（札幌黄）	1.8kg
かぼちゃ（M7）	1.5kg
じゃがいも（北あかり）	1.7kg
<b>10kgセット</b>	<b>2,900円(税込)</b>
玉葱（札幌黄）	3.5kg
かぼちゃ（M7）	3.0kg
じゃがいも（北あかり）	3.5kg

## 申 込 書

送り先	住所	氏名	TEL	携帯	
送り主	住所	氏名	TEL	携帯	
5キロセット	個	円	配送地域別送料	5キロ料金	10キロ料金
10キロセット	個	円	北海道	500円	500円
合 計	個	円	東北	700円	800円
			関東・信越	700円	1,100円
			北陸・中部	900円	1,200円
			関西・四国／中国	1,000円	1,300円
			九州	1,200円	1,600円
			沖縄	1,700円	2,400円

## FAX(011)613-9323

申込締切/11月20日まで

お支払い方法（番号を○で囲んで下さい）

1. 現 金（代引きはお取扱いしていません）
2. 銀行振込

振込先 北洋銀行 琴似中央支店（普）  
口座番号 4645307

特定非営利活動法人 札幌障害者活動支援センターライフ  
きばりや 理事長 我妻 武  
（振込手数料はお客様負担となりますのでご了承下さい）

※発送は入金後となります

総合計(品代+送料) 円

申込先

販売元：NPOライフ 担当事業所：きばりや 〒063-0812 札幌市西区琴似2条5丁目3-5-102  
TEL 011-644-5533 FAX 011-613-9323 Mail:kibariya@npolife.net

私のオススメ

# 「HOCKEY」

たねや所長 島 明子

今回は私が15年間続けているマイナーでまったく知られていない陸上ホッケーの雑誌をご紹介します。

高校生から始め、現在も社会人チームに所属し、日々国体を目指し練習しております。個人的にスポーツが大好きでバスケット・ラクロス・ハーフマラソン・ロッククライミングなど色々チャレンジしましたが、やっぱりこのマイナースポーツが一番楽しいです♪

簡単にホッケーについて説明します。男女とも、競技フィールドはサッカー場よりもひとまわり小さく、ゴールはハンドボールとほぼ同じ大きさ。ゴール前にサークルと呼ばれるシューティングゾーンがあり、その中からシュートされたボールが入れば得点となります。試合は11名で行い選手の交代は試合中自由にでき、競技時間は前・後半各35分で、間に5～10分のハーフタイムが入ります。ゴールキーパー以外は手を使う事ができず、スティックでボールをコントロールします。スティックの長さはおおよそ1m弱、ボールはプラスチック製で野球の硬球ほどの大きさで、硬球よりも硬く、シュート時のボールスピードは時速150～200km近くにもなります。しかもシュートは、ゴール前のシューティングサークル内で打たれたボールでないと得点にならないため、ゴールキーパーはヘルメット、レガード、プロテクター、肘パッドなど頑丈な防具で身体を守ります。試合は1ゴールを1点とし、得点を多く入れた方が勝ちとなります。

最近ではロンドン五輪にも全日本女子(さくらJapan)が出場し9位だった様子。徐々に近づくJapanに近づいて来ています。ちなみに、この雑誌は日本ホッケー協会発行の専門雑誌のため、お近くの書店には置いていません(苦笑)

興味のある方はたねやの店頭においてありますので、是非お越しくださいませ!!!詳しくは社団法人日本ホッケー協会HPをご覧ください♪

年間購読料 2,400円  
(1冊600円・年4回/税込・送料別)



協力ありがとうございます

## アドボケ購読料

谷角 育子様

## 寄付金

谷角 育子様

織本 英子様

石澤 利巳様

## 維持会費

福田 敏夫様

## ～ライフカンパのお願い～



NPO札幌・障害者活動支援センターライフでは、設立して23周年(法人化して12年)を越えたところですが、これまで何か行動を起こす時に目標を設定してカンパのお願いをしてきました。しかし、昨年末から皆様方にライフ運営資金のためのカンパをお願いしてきています。

ここ数年続く世界的な不況で仕事量は減っており、ライフの運営が厳しくなっていることも事実です。そこで、大変恐縮ですが、ライフの運動に共感する皆様方からの応援を是非ともお願いしたいと思います。

### 振り込み先

北洋銀行 琴似中央支店 普通預金 4606735  
加入者名 特定非営利活動法人  
札幌障害者活動支援センターライフ  
理事長 我妻 武

札幌信用金庫 琴似支店 普通預金 3296744  
加入者名 特定非営利活動法人  
札幌障害者活動支援センターライフ  
理事長 我妻 武

ゆうちょ銀行 振替口座 02710-4-63485  
加入者名 NPO札幌・障害者活動支援センターライフ

### 【ご感想をお待ちしております】

アドボケイトをご覧になり、ご感想やお気づきの点などがありましたらお気軽にお問い合わせ下さい。今後の参考にさせていただきますので、よろしくお願いたします。(担当:きばりや かどた)

TEL:011-644-5533 FAX:011-613-9323

E-mail: kadota@npolife.net

## 編集後記

北海道の秋はいきなりで、もう晩秋である。高い山では初冠雪などというニュースもあり、これから冬に向かって少しずつ寒くなっていく。先月号にも書いたが、夏は乗り切った計画停電だが、北海道は冬が心配である。暖房や坂道のロードヒーティング、そして、在宅で人工呼吸器や透析器、様々な医療機器を使っている人は特に不安だ。様々なところで発表する需給見通しの数字も少しずつ変わるから余計に不安だ。いったいどれを信じればいいのか。数字と言えばライフの上半期の数字がどうも思わしくない。何とかしなくてはいけない。ともかく年末の贈答品販売と日常の仕事をいただけるように営業するしかない。(タケ)

## アドボケイト 霜月号(第144号)

2012年11月10日発行(毎月10日発行) HSK通巻第488号

1973年1月13日第3種郵便物認可

発行人/北海道障害者団体定期刊行物協会  
細川 久美子

〒063-0868 札幌市西区八軒8条東5丁目4-18

編集人/NPO法人札幌・障害者活動支援センターライフ  
理事長 我妻 武

〒063-0812 札幌市西区琴似2条5丁目3-5マンションモモ1F

TEL 011-633-6666 FAX 011-613-9323

E-mail honbu@npolife.net

ホームページ http://npolife.net/

郵便振替口座 02710-4-63485

定価 100円